

# 職務経歴書

2019年4月18日現在

○○ ○○

## 【職務要約】

○○大学大学院を卒業後、新卒で○○メーカーである○○株式会社に入社。○○エンジニアとして海外協力会社の製造品開発を行ってきました。量産品の○○改善により歩留まり5%増加を達成し、人事考課では2回連続で最高評価(上位3%が対象)をいただきました。

## 【活かせるスキル】

英語力	TOEIC:685点 メールや電話で技術的な議論や進捗報告を行っています。海外出張では、試作工数削減に関する提案という形でプレゼンテーションを行いました。
PCスキル	Excel(関数), Word, PowerPoint, C++(基礎レベル)、○○(シミュレーション)
コミュニケーション力	製品開発では、社外・他部署との調整を毎日行っています。

## 【職務経歴詳細】

### ■勤務先企業

○○株式会社

資本金:○○万円、従業員数:○○名、売上高:○○万円(2018年3月期)

事業内容:○○製品の研究開発・設計・製造および販売

雇用形態:正社員

### ■職務内容

海外協力会社で製造されている○○製品の○○開発と量産改善を行っています。

#### ● 試作品の量産立ち上げ

設計部門から受けた開発仕様に沿った○○作成、試作品作成に関する海外エンジニアとのすり合わせ、問題発生時の原因工程の特定や改善の実施に取り組んでいます。

#### ● 量産品の○○改善

量産○○改善による歩留まり改善を実施しています。

先輩エンジニアのサポートも行き、測定や○○シミュレーションを行っています。

### ■実績

#### ● 試作品の量産立ち上げ:9品種(内○○品4品種)

#### ● 量産品の○○改善による歩留まり改善:2品種

○○改善により特性ばらつきを改善し、5%(最大20%)の歩留まり増加を達成しました。この成果が評価されたことにより、計2回の人事考課で最高評価(上位3%が対象)を頂きました。

## 【志望動機】

私が御社を志望する理由は、「物の本質を突き詰めることで、世界一の発見や性質の実現を成し遂げたい」という生涯の夢を実現できると考えたからです。

私は物の本質に興味があり、大学院では○○の研究に取り組んでいました。現職では○○担当として、製品開発を行っています。歩留まり低下の原因調査や、○○の信頼性への影響度評価を行う中で、より根本的な○○について突き詰めたいと思うようになりました。

○○メーカーとして世界トップシェアの御社は○○開発に注力しており、○○開発から製品開発を一貫して自社工場で行っていることに興味を持ちました。○○の供給不足に対して、新規工場の稼働を○○年○月から開始したという対応の早さや、○○プロジェクトにも魅力を感じました。

私は御社で、今後市場拡大が見込まれる○○向けの材料として、高信頼性・○○を実現する○○開発に携わりたいと考えています。あるべき姿と現状を比較し、問題を発見・解決できる「問題形成力」や「問題解決力」のある開発エンジニアになりたいです。

## 【自己PR】

私の強みは粘り強さです。問題に立ち向かい、目標を達成する力には自信があります。

量産製品での歩留低下が発生した際に改善を任せられ、原因工程の特定・改善条件の条件だし実験・改善の適用を一貫して行いました。

入社5か月後で分からぬことばかりでしたが、任されたからにはやり遂げたいと思い、40製品の試作対応と並行して行うための業務効率化、実験の計画や改善によるリスクの検討など、上司や先輩のアドバイスを求めながら進めていきました。

納期の前倒し要求や、他項目の特性変動という予想外の出来事もありましたが、その都度問題と向き合い対応しました。

改善で一番大変だったことは海外協力会社との調整です。改善条件を発見した後、その条件を変えてしまうと他の項目に悪影響が出てしまうという問題が発生しました。この問題について、海外エンジニアとの間に認識違いがありました。文化が異なる相手と英語で技術的議論を行うことは非常に困難でしたが、「論理立てて説明すること」「相手の立場を踏まえること」を意識し、何度も話し合いを行うことで解決することができました。

改善には約1年間かかりましたが、歩留まり増加を達成したときは本当に嬉しかったです。上司から「ここまでやりきるとは予想以上だ」との評価を頂き、人事考課では最高評価を頂くことができました。御社においても、粘り強く問題に対応する力を活かすことができると考えています。